

目 標

- 大阪が直面している社会的課題から、**大阪から社会に発信すべきもの、大阪でまず解決に取り組むべきものなどといった個別のテーマを設定。**
- 地域に本社を置く企業やNPO法人、クリエイターなど**多様なプレイヤーが1期につき半年以上かけて連続ワークショップを開催。**
- 取組みテーマについて、各プレイヤー横断的に検討する新たなアプローチ**を取り入れて大阪の社会的課題や大阪らしい**社会価値**を生み出す議論を積み重ね、**プレイヤーの力を組み合わせた新規性のあるネットワーク構築・社会的インパクトのあるプロジェクトを創出**する。

構成と取組みテーマ

セクター	氏名	所属	テーマ
リーダー	施 治安	「大阪を変える100人会議」顧問	
メンバー (大阪のこども問題)	辻 由紀子	大阪府子ども家庭サポーター	子育て層の地域での居場所拠点づくり、子供の貧困問題、ママの活動支援など、大阪で生じている子ども関連課題の解決に寄与する。
メンバー (公園の活用)	小原 孝清	大和リース(株) 大阪本店環境緑化営業所長	公共施設である市内の公園を活用し、地域のコミュニティ拠点づくりをめざす。
メンバー (福祉×伝統産業)	中川 悠	NPO法人チュラキューブ / (株)GIVE & GIFT 代表	福祉と伝統産業（一次産業や伝統工芸など）を掛け合わせ、新たな福祉事業を創出する。

今後の進め方

- 分科会の取組みとして、リーダーとメンバーにより、まず第1期として3つのテーマを掲げて検討する。
 - ①大阪のこども問題 ②公園の活用 ③福祉×伝統産業
 - ※各テーマの検討にあたっては、各10～20名程度のプレイヤーの参加を見込み、インクルーシブに議論を行う。
 - ※原則、各テーマごとに毎月開催し、6～10回程度をめどにワークショップや現場視察を重ねていく。
- 各テーマごとに、30年度末頃めどで一定の活動成果をとりまとめ、フィランソロピー大会などでの発信をめざす。